

令和4年2月28日

保護者の皆様

湯河原町立湯河原小学校
校長 北村 和裕

令和3年度 学校評価アンケート集計結果

学校評価のアンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました。『ほかほかな湯河原小を
目指して(児童用アンケート)』、『学校評価アンケート(保護者用)』の集計結果がまとまりましたの
でお知らせします。この結果を次年度の学校運営の改善に生かすべく、取り組んでまいります。

	「当てはまる」「だいたい当てはまる」 と回答した割合(%)	児童		保護者	
		前期	後期	前期	後期
1	進んであいさつをしていますか	89	90	94	86
2	温かな言葉をつかっていますか	88	84	88	83
3	掃除をがんばっていますか	93	91	83	84
4	粘り強く学習をしていますか	86	85	69	69
5	ICT機器を活用できていますか	96	95	78	76
6	進んで家庭学習にとりこんでいますか	81	77	65	66
7	手洗い、検温、体調チェックを毎日していますか	92	93	97	94
8	災害が起きた時、初期行動がとれていますか	92	93	82	91
9	早寝、早起きをし、朝ご飯をきちんと食べていますか	81	76	80	71
10	決まりを守っていますか	92	89	84	82
11	何でも話せる友達はいますか	91	90	78	76
12	学習で困ったとき「教えて」と言えますか	85	84	91	84

1 アンケート結果から

- ・質問1～2の結果から、ほとんどの児童が進んであいさつを行い、温かな言葉を心掛け、おもいやりの心をもって生活しているようです。
また、質問2に、「あまり当てはまらない」、「当てはまらない」と答えた16%の児童は、思いやりが足りなかったかな、と自分の生活を振り返ったようです。同様の回答だった17%の保護者の方は、家庭でももう少し温かな言葉をつかって欲しいと感じているようです。
- ・質問3から、ほとんどの児童が掃除の取り組みをがんばっていることがわかります。
- ・質問4では、ほとんどの児童が粘り強く学習をしている、と回答していますが、保護者の方の回答は15%ほど低く、比較的児童の回答との差の大きさが目立ちます。質問6の回答とあわせて考えると、児童の学習において、学校での取り組みの姿勢と、家庭での取り組みの姿勢に差があることが考えられます。
- ・質問5の回答について、児童回答と保護者の回答との差があることがみられました。ほとんどの児童はタブレットPCを使った学習ができたと感じている一方、保護者の方にその様子が伝わり切れていないこと、さらに活用した学習への期待があることが考えられます。
- ・質問7～9について、学校、家庭における手洗いなどの新しい生活習慣が、定着してきたと思われる。災害が起きたときの行動についても、意識が高まってきているようです。
- ・質問10～12について、ほとんどの児童は決まりを守って生活し、お互いに良いかわりを持って生活しているようです。また、学習で困ったときは先生に相談できる雰囲気できていると思われる。

2 来年度に向けて

- 昨年度までと同様に、家庭や児童の間に、きまりやルールを守ることについての意識が高いことがわかります。今後も望ましい人集団づくりを目指し、学びあいや、認め合いのある学級づくりや、なかよし班活動などの児童による主体的な活動を通して、規範意識の向上を図っていきます。
- ICT機器について、今年度、授業での活用について研究を進めてきました。来年度も、児童の資質・能力の育成に向けて、より効果的な活用ができるように、学習ツールの一つとしてのICTを積極的に活用し、工夫を重ねていきます。
- 家庭学習の習慣化に向けて、児童の発達段階に応じた課題の提示など、工夫と充実を図ります。
- 児童や保護者が困ったときに、相談でき、一緒に考えていける学校を目指し、これからも思いに寄り添った相談体制の充実を図ります。